学校番号	２１２

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新情報Ⅰ　（実教出版）						
副教材等	基礎からはじめる情報リテラシー２０１９　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「情報Ⅰ」の目標は、より良い情報活用能力（情報の収集、判断、創造、発信ができる能力）を身につけることです。教えられたことをただその通りにやればいいという科目ではありません。積極的に授業に取り組み、自分の「思い」を形にする様々な方法を学んでください。自分自身で判断、創造するためには、基本的な知識や技術が必要です。知識や技術は授業内で初歩から解説し、練習します。毎時間しっかりと集中して取り組んでください。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・課題を解決するために必要な、基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。 ・情報が常に新しいものへと進化する社会の特質、及びそのような社会と人間との関りについて理解している。	・課題に対して「求められていることは何か」「何が必要か」「どう表現すればよいのか」を自ら考えることができる。 ・身の周りの事象を、情報とその結びつきの観点から捉えようとすることができる。	・提出物に対して教員の発言等を必要に応じてメモを書いている。 ・自分の作品を、教員の見本から発展させてより良い物にしようと創意工夫をしようとしている。 ・グループワークに参画し、課題に対して主体的に取り組み、自らを評価しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会と問題解決	・情報社会 ・情報社会と社会のルール ・個人情報 ・知的財産権	a: ・情報ネットワークを使って電子メール等で正しくコミュニケーションを行う技能を有している。 ・個人情報を管理する技能がある。 ・情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 ・データ、情報、知識の違いを理解できる。 ・ディジタル化された情報の正しい利用方法、コミュニケーションの特徴を理解している。 ・個人情報の概念や個人情報の保護について理解している。 ・情報の信憑性や信頼性を理解している。 ・知的財産の体系を理解している。 b: ・ディジタル化された情報を正しく取り扱おうとする意欲と態度が見られる。 ・個人情報の保護に関心を示し、管理しようとする態度がある。 ・知的財産権に関心を示し、それらを保護しようとする態度がある。 c: ・情報社会との関りについて考えながら、課題やグループワークに主体的に取り組もうとしている。	学習状況の観察	学習状況の観察 学習プリントの記述	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの取り組み
	文書作成実習	・入力の基本 ・ビジネス文書の書き方 ・課題作品 ・グループワーク ・発表 ・Word 実技テスト	a: ・ビジネス文書が作れる。 ・word に表を挿入できる。 ・図形等を利用して地図等を描くことができる。 ・Word の機能について知識を持ち、適切に利用できる。 b: ・自分の表現したいものをどうすれば表現できるか考えることができる。 c: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 ・自分の作品をよりよくしようと工夫している。	学習状況の観察 実習作品 課題作品 レポート 発表 実技テストの結果等	学習状況の観察 学習プリントの記述 実習作品 レポート 発表 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 グループワークへの取り組み タイピングの取り組み

2学期	コミュニケーションと情報デザイン	・わかりやすい情報伝達	a: ・画像や表を効果的に取り入れることができる。 ・図やグラフ等を利用してわかりやすく表現できる。 ・情報を伝達する際の注意事項について理解している。 ・企画書の作成に文字、表、図形、画像等を効果的に用いる方法を理解している。 b: ・目的や対象を明確にして、表現やデザインの工夫を行っている。 c: ・わかりやすく情報伝達しようとする意欲が見られる。	学習状況の観察	学習状況の観察 学習プリントの記述	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの取り組み
	表計算実習・データ分析	・データの入力 ・グラフの作成 ・基本的な計算 ・関数の利用 ・データの検索 ・データの分析 ・グループワーク ・発表	a: ・表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ、関数を利用できる。 ・表計算ソフトを利用し、条件にあうデータの検索ができる。 ・目的に応じて数値の変化などをわかりやすいグラフで表現できる。 ・目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現できる知識がある。 ・条件にあわせて関数を選択して利用するための知識がある。 ・データ分析の手法について理解している。 b: ・課題に応じて利用するグラフを適切に選択できる。 ・条件にあわせて適切に関数を選択してりようできる。 c: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 ・自分の取り組む課題をよりよくしようと工夫している。 ・グループワークに主体的に取り組んでいる。	学習状況の観察 データ検索と分析 課題作品 レポート 発表	学習状況の観察 学習プリントの記述 レポート 発表 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 グループワークの取り組み タイピングの取り組み

２学期	プレゼンテーション実習	・テーマの決定 ・ポイントの絞り方 ・スライド制作 ・原稿用意 ・発表	a: ・静止画、図形、画面切り替え、アニメーションなど多彩な表現メディアを利用している。 ・プレゼンテーション制作の各段階のポイントを理解している。 ・多彩な表現メディアを効果的に利用する方法を理解している。 b: ・プレゼンテーションのテーマが適切である。 ・ストーリーがしっかりと構成されている。 c: ・実習や作品制作に意欲をもって取り組んでいる。	学習状況の観察 実習作品 課題作品 レポート 発表	学習状況の観察 学習プリントの記述 レポート 発表 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの取り組み
３学期	コンピュータとプログラミング	・コンピュータのしくみ ・プログラミング ・アルゴリズム ・課題作品	a: ・簡単なアルゴリズムのプログラムを作成できるか。 ・パズルを解くプログラムを理解しているか。 ・フローチャートやアルゴリズムの基本構造について理解しているか。 b: ・パズルを解くときにコンピュータを利用する場合としない場合の手順について考えられるか。 c: ・興味を持って、体験的な学習や授業に積極的に取り組んでいるか。 ・例題のプログラムの作成や変更など、積極的に行っているか。	学習状況の観察 実習作品 課題作品	学習状況の観察 学習プリントの記述 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの成績

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度